

大学奨学生 40人が内定

伊藤青少年育成奨学会

伊藤青少年育成奨学会
(田代久美子理事長)の2
025年度大学奨学生を決
める面接が、多治見市十九



面接を受ける大学進学希望者(右手前)＝多
治見市十九田町、バロー文化ホール

田町のバロー文化ホールで
行われた。40人が合格し、
給付が内定した。

奨学会はバローホールデ
ィングス創業者の故伊藤喜
美氏の個人資産の一部を元
に設立。2000年度から、
大学に進学する県出身者や

県内在住者、県内大学への
進学者に年36万円の奨学金
を給付している。

25年度は前年より25人多
い100人の応募があり、
小論文などの1次選考を通
過した48人が、田代理事長
と4人の選考委員による2
次選考の面接に臨んだ。

奨学会によると、応募者
の出身高校は県外13校を含
む58校。小論文の指定図書
は『世にも美しい数学入門』
(筑摩書房)だった。面接は
3日間に分けて実施した。

このほか大学院生を対象
にした奨学制度には11人の
応募があり、うち9人が書
面審査で合格し内定した。
大学、大学院とも、合格者
は理事会の承認を得て内定
した。
(小森直人)